

- 4 S を習慣化すると安全だけでなく、次のような効果も得られます。
 - ① 商品管理の向上
必要な物と不必要な物が分別され、常にチェックできて商品の管理がしやすくなります。
 - ② 売り上げの向上
必要な物がすぐに取り出せるので、お客様を待たせることがなくなり、また、置き場所の工夫により、商品を見やすく、数多く陳列できるようになります。
 - ③ 効率、サービス、快適さ、品質の向上
整理・整頓・清掃・清潔を繰り返し、衛生面を確保し、快適な環境を実現・維持することによって、お客様に良いイメージを与え、従業員も気持ちよく働くことができますようになります。

【店舗での取組好事例】

事例① 以前は、バックヤードの倉庫でない場所に荷物が置かれていることが多かった。安全パトロールの際に写真を撮って安全衛生委員会や従業員研修で問題点を指摘することで整理・整頓の意識が高まり、改善され定着した。

事例② 4 S の実践で活用できるスペースが広がった。保存していた書類の 80% が不要だった。物の紛失がなくなり、探す時間も減った。

事例③ 倉庫の在庫が減ったため、商品が取り出しやすくなり、作業効率がアップした。1 人当たりの発注品出しに要する時間が 1 週間平均で約 90 分短縮した。

〔事例③の実施手順〕

- a 店長が強い理念と意思を持ち、4 S と在庫の削減を併行して行う指示を出し、4 S の必要性、方法を管理者のミーティングで話し合った。
- b 管理者と従業員が話し合い、従業員アンケートにより職場の問題点を洗い出した。
- c 管理者が問題点を集約し、4 S と在庫削減の実施案を作成。従業員にフィードバックし、意見を求めた。
- d 全員で役割分担し実行した。
- e 効果を上げた方法のルール化を目指した。
- f 対象範囲を、事務所から、売り場、倉庫へと広げていった。

このような安全活動の展開による成果は、店長が理念を持ち、手順を踏んで行うことによって、必然的に生まれたものといえます。

